



2019年4月25日

各 位

会 社 名 図 書 印 刷 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 川田 和照
(コード番号：7913 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員財務本部長 塩谷 晶正
兼管理部長
(電話番号：03-5843-9839)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の動向等を踏まえ、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,000	200	600	200	4.67
今回修正予想(B)	52,400	△50	510	100	2.34
増減額(B)-(A)	△2,600	△250	△90	△100	
増減率(%)	△4.7	-	△15.0	△50.0	
(参考)前期実績(2018年3月期)	53,684	55	577	875	20.46

2. 修正の理由

売上高については、情報デザイン事業は、出版市場の縮小とマーケティング分野のデジタルシフトの影響により想定より減少しました。また教育ソリューション事業も、中学校新科目の教科書・指導書や学習参考書の売上が当初の想定を下回り、結果として前回公表予想を下回る見込みとなりました。

営業利益については、情報デザイン事業は、売上が減少したものの、営業活動における利益管理の徹底や生産部門を中心とした固定費の圧縮によりほぼ想定どおりの利益となりました。一方、教育ソリューション事業は、売上減の影響で利益が減少し、結果として前回公表予想を下回る見込みとなりました。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、営業外収益で保険返戻金が増加したものの営業利益の減少の影響で前回公表予想を下回る見込みとなりました。

※上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上